

第23回大学教育研究フォーラム

◆日 程 2017年3月19日(日)～20日(月)

◆会 場 京都大学 吉田キャンパス

【個人研究口頭発表・参加者企画セッション】 吉田南総合館北棟/1号館(吉田南構内)

【個人研究ポスター発表】 百周年時計台記念館2F 国際交流ホール(本部構内)

【特別講演】 百周年時計台記念館1F 百周年記念ホール

【学術セミナー】 吉田南総合館北棟

【MOSTフェロー発表会・シンポジウム】 百周年時計台記念館1F 百周年記念ホール

【情報交換会】 百周年時計台記念館2F 国際交流ホール

3月19日(日)

受 付 8:15～12:30 ……………【吉田南総合館北棟 共北12】
12:30～14:30 ……【百周年時計台記念館1F 百周年記念ホール】

個人研究口頭発表 9:00～10:50 【吉田南総合館北棟】

9:00～ 9:20 個人発表①

9:20～ 9:40 個人発表②

9:40～10:00 個人発表③

10:00～10:20 個人発表④

10:20～10:50 討論

*1人あたりの時間20分

(発表時間15分+質疑応答3分+2分交代)

個人研究ポスター発表 9:30～14:00 …【百周年時計台記念館2F 国際交流ホール】
*在席義務時間 9:30～10:30

特 別 講 演 11:20～12:20 ……【百周年時計台記念館1F 百周年記念ホール】
新井紀子(国立情報学研究所社会共有知研究センター長)

学術セミナー 11:20～12:20 ……………【吉田南総合館北棟 共北31・共北25】
深堀聰子(国立教育政策研究所高等教育研究部長)
浅野 茂(山形大学学術研究院教授)

MOSTフェロー発表会 13:30～14:30
……………【百周年時計台記念館1F 百周年記念ホール】

シンポジウム 14:45～18:00 ……【百周年時計台記念館1F 百周年記念ホール】
土井隆雄(京都大学宇宙総合学ユニット特定教授)
平田オリザ(東京藝術大学COI研究推進機構特任教授)
錦織 宏(京都大学医学教育推進センター准教授)

情報交換会 18:30～20:30 ……………【百周年時計台記念館2F 国際交流ホール】

3月20日(月)

受 付 9:00~13:00 ……………【吉田南総合館北棟・共北12】

個人研究口頭発表 10:00~11:50 ……………【吉田南総合館北棟／1号館】

10:00~10:20 個人発表①

10:20~10:40 個人発表②

10:40~11:00 個人発表③

11:00~11:20 個人発表④

11:20~11:50 討論

*1人あたりの時間20分

(発表時間15分+質疑応答3分+2分交代)

MOSTデモ 10:00~13:00 ……………【吉田南総合館北棟 共北36】

参加者企画セッション 13:20~15:50 ……………【吉田南総合館北棟／1号館】

個人研究発表、参加者企画セッションは、発表者・企画者の良識に基づいた学会形式のプログラムです。センターは申込の条件や形式のみを審査し、内容についての審査をおこなっておりません。あらかじめご了解の上、各人の判断でご参加ください。

休憩室について

3月19日(日) 9:30~14:00

百周年時計台記念館2F 国際交流ホールII

3月20日(月) 9:00~14:30

吉田南総合館北棟共北32

休憩や議論の場として自由にご利用ください。

部会1 座長:林 透【会場:吉田南総合館北棟 共北25】

- アクティブラーニングの質保証およびジェネリックスキル育成のための
プロジェクトマネジメント教育の現状と展望 p.36
井上雅裕(芝浦工業大学)
- 大学のアクティブラーニング調査から見えてきたこと
—アクティブラーニングをカリキュラムマネジメントにいかに関与させるか— p.38
高井靖雄(学校法人河合塾)・友野伸一郎(学校法人河合塾)・山本康二(学校法人河合塾)
伊藤寛之(学校法人河合塾)・赤塚和繁(学校法人河合塾)・中條恵理奈(学校法人河合塾)
野吾教行(首都大学東京)
- 被災地訪問による課題発見型アクティブラーニングで学生の「生きる力」を育む p.40
呂本俊亮(東北大学)・杉浦元亮(東北大学)
- AL ベストティーチャー表彰制度の設計と効果に関する一考察
—山口大学・大学教育再生加速プログラム(YU-AP)の取組を通して— p.42
林 透(山口大学)・斎藤有吾(山口大学)

部会2 座長:桐山 聡【会場:吉田南総合館北棟 共北26】

- 映像制作授業内でのリフレクションに注目した peer learning において
他者の言動を通して再認識される自己の創造 p.44
藤城晴佳(早稲田大学)・保崎則雄(早稲田大学)
- 成長と目標達成を相互支援する「コーチ型リーダー」の育成
—学生同志の関わりによる自己認識・相互理解から、
自己変革を生み出す授業実践と効果— p.46
小林丈仁(関西学院大学)
- 野外実習におけるアクティブラーニングが思考基幹におよぼす影響
—目的の非提示による到達目標の自己探索— p.48
塩川満久(県立広島大学)・中瀬古 哲(神戸親和女子大学)・辻 文(県立広島大学)
- 卓越した学習者による問題解決時の考え方を他の学習者に移転する試み p.50
桐山 聡(鳥取大学)

部会3 座長:小畑力人【会場:吉田南総合館北棟 共北27】

- アクティブラーニングを取り入れたキャリア理論学習の効果の検討 p.52
高橋南海子(明星大学)・鈴木浩子(明星大学)
- 女子大におけるリーダーシップとPBL—EIWA プロジェクトの成果と課題— p.54
町田小織(東洋英和女学院大学)
- インターンシップの中での失敗経験がインターンシップの成果に与える影響 p.56
井戸智子(愛知淑徳大学)
- 追手門学院大学社会学部の教育の再建と体系的なキャリア教育の構築 p.58
小畑力人(追手門学院大学)・福本賢太(追手門学院大学)

部会 4 …………… 座長：谷 美奈 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北28】

- 「文章作成支援」の一環として行った添削指導から分かる学生のルールへの適応性 ————— p.60
 矢部玲子（北海道文教大学）・桐山 聡（鳥取大学）
- 大人数を対象とした文章表現教育におけるピア・レスポンスの効果 ————— p.62
 山下 香（流通科学大学）・藤田里美（流通科学大学）・西川真理子（流通科学大学）
 石黒 太（流通科学大学）
- 自己表現力を引き出す文章指導—専門教育と教養教育が連携した授業実践— ————— p.64
 塚越久美子（北海道科学大学）・谷口尚弘（北海道科学大学）
 前田憲太郎（北海道科学大学）・梶谷 崇（北海道科学大学）
- 自己形成史におけるパーソナル・ライティングの意味
 —パーソナル・ライティングを経験した元学生（当事者）への聞き取り調査から— ————— p.66
 谷 美奈（帝塚山大学）

部会 5 …………… 座長：栗田佳代子 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北31】

- 大学語学教員の授業力育成のための研修プログラムの開発と考察 ————— p.68
 村上裕美（関西外国語大学）
- 大学教員にとってFDとは何か
 —教育実践を通じた大学教員の学習プロセスの質的検討— ————— p.70
 新原将義（徳島大学）・久保田祐歌（三重大学）
- プレFDプログラム受講の効果に関する質問紙調査の質的分析 ————— p.72
 吉田 壘（東京大学）・栗田佳代子（東京大学）・松原 悠（東京大学）
- オンライン型FDプログラムの学習継続要因の分析 ————— p.74
 栗田佳代子（東京大学）・中村長史（東京大学）

部会 6 …………… 座長：田中一孝 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北32】

- 入学後の学修行動に影響を及ぼす要因の分析 ————— p.76
 吉田清隆（神戸親和女子大学）・間瀬泰尚（神戸親和女子大学）
- ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーのつながりをデータに基づいて検証する ————— p.78
 橋本智也（京都光華女子大学）
- 大学生は学士課程教育の経験を通してどのように成長しているのか
 —大阪府立大学の学生調査の分析結果を事例として— ————— p.80
 畑野 快（大阪府立大学）・上垣友香理（大阪府立大学）・高橋哲也（大阪府立大学）
- 分野別学修成果の策定と測定—哲学思想系分野を事例に— ————— p.82
 田中一孝（桜美林大学）・畑野 快（大阪府立大学）

部会 7 …………… 座長：見館好隆 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北33】

- 数学基礎教育における2.5次元デジタルテキストの活用と取り組み ————— p.84
 亀田真澄（山口東京理科大学）・宇田川 暢（山口県立大学）

自然体験や野外活動を伴った授業の教育効果	p.86
松尾美香(岡山理科大学)・望月雅光(創価大学)・松下尚史(岡山理科大学)	
初対面状況時に対話を行うためのカードゲームについての予備調査	p.88
寺島哲平(常磐大学)・高木幸子(常磐大学)・大道一弘(常磐大学)	
中村泰之(常磐大学)	
課題解決型授業の改善とその効果	p.90
見館好隆(北九州市立大学)	

部会 8 座長：斎藤有吾 【会場：吉田南総合館北棟 共北34】

対話的評価活動を取り入れた日本語表現のテキスト分析—大学学部生を対象にして—	p.92
原田三千代(三重大学)	
教員養成型PBL教育の課題と展望(XIV)	
—ルーブリックによる評価にもとづく対話的事例シナリオの改善—	p.94
中西康雅(三重大学)・赤木和重(神戸大学)	
大西宏明(三重大学教育学部附属特別支援学校)・大日方真史(三重大学)	
根津知佳子(三重大学)・前原裕樹(愛知大学)・守山紗弥加(三重大学)	
森脇健夫(三重大学)・山田康彦(三重大学)	
ルーブリックを活用したワークシートによる振り返りが学生の自己評価能力に与える影響	
—新潟大学歯学部におけるPBLの実践を事例として—	p.96
斎藤有吾(山口大学)・小野和宏(新潟大学)・松下佳代(京都大学)	

部会 9 座長：保田隆明 【会場：吉田南総合館北棟 共北37】

産学・高大連携による金融経済教育と社会人基礎力育成	p.98
水野英雄(椋山女学園大学)	
産官学連携教育における連携先ベネフィットと授業マネジメントを考慮したサービスデザインの活用	p.100
森田泰暢(九州産業大学)	
「非プロジェクト型」地域連携授業の実践と学生による振り返り調査の結果分析	p.102
石井雅章(神田外語大学)	
大学生による海の家出店を通じた実践型経営教育	p.104
保田隆明(神戸大学)	

部会 10 座長：木村修平 【会場：吉田南総合館北棟 共北38】

共生日本語をめざした院生プロジェクトの評価と改善	p.106
遠山千佳(立命館大学)	
協同学習を取り入れたリサーチリテラシー育成の試み	p.108
佐瀬竜一(常葉大学)	
芝浦工業大学における自校教育「芝浦工業大学通論」に関する実践報告	p.110
奥田宏志(芝浦工業大学)・榊原暢久(芝浦工業大学)	

アクティブラーニング型大学英語カリキュラムの独自評価指標の策定

- 立命館大学プロジェクト発信型英語プログラム、8年間の取り組みに基づいて— p.112
 木村修平(立命館大学)・山中 司(立命館大学)・近藤雪絵(立命館大学)
 山下美朋(立命館大学)

部会11 …………… 座長：小助川貞次 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北35】

- 高校生と大学生の貧困を考える—大阪府立西成高校の事例に学ぶ支援のあり方— p.114
 佐藤龍子(龍谷大学)・前比呂子(追手門学院大学)
- 海外留学経験をどのように生かすか—学内での国際交流活動による学生達の実践から— p.116
 村山かなえ(名古屋大学)・岩城奈巳(名古屋大学)
 名古屋大学留学のとびら(名古屋大学)
- 熊本市災害VCの運営に従事することで生じた防災意識の変化プロセスについての考察 p.118
 村江史年(北九州市立大学)
- 大学生と中学生がともに取り組む「15歳の選択」の紹介 p.120
 小助川貞次(富山大学)

部会12 …………… 座長：名城邦孝 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北36】

- ラーニングコモンズでのレファレンスサービスの効果について p.122
 池ヶ谷浩二郎(創価大学)・鈴木正宣(創価大学)
- 「アクティブな学びの場」としてのラーニング・コモンズの現状と課題 p.124
 木原宏子(創価大学)
- フォトダイアリー調査からみるラーニング・コモンズ内での学習実態 p.126
 鈴木夕佳(同志社大学)・浜島幸司(同志社大学)・岡部晋典(同志社大学)
 井上真琴(同志社大学)・野田宣彦(同志社大学)・山口夏奈(同志社大学)
 三宅重彰(同志社大学)・大島佳代子(同志社大学)
- 大学における図書館利用教育へのゲーミフィケーションの導入 p.128
 名城邦孝(常磐短期大学)・寺島哲平(常磐大学)・関 敦央(常磐大学)
 宮崎雅幸(常磐大学)・石田喜美(横浜国立大学)

- 1** 大学におけるICT活用教育により得られた効果の経年分析と
教育方法改善／教育的効果がみられた機関の特徴 ————— p.130
辻 靖彦(放送大学)・高比良美詠子(中部大学)・田口真奈(京都大学)
稲葉利江子(津田塾大学)
- 2** アクティブラーニングとしてのプレゼンテーション教育のデザイン
—VECTと並行反復学習法の効果— ————— p.132
中野美香(福岡工業大学)
- 3** 学生による反転授業制作の意義—教員と学生の視点から— ————— p.134
小原優貴(東京大学)・吉田 壘(東京大学)・福山佑樹(東京大学)
- 4** 医学部学生を対象としたICT利活用支援のための講義 ————— p.136
佐藤 梓(東京女子医科大学)・辻野賢治(東京女子医科大学)
内田啓子(東京女子医科大学)・小寺由人(東京女子医科大学)
加藤砂織(東京女子医科大学)・三ツ橋史緒子(東京女子医科大学)
田部瑠子(東京女子医科大学)・上田明子(東京女子医科大学)
尾崎 真(東京女子医科大学)
- 5** 学習英文法における実態とその課題 ————— p.138
小町将之(静岡大学)・小早川真由美(文部科学省)・高瀬祐子(静岡大学)
松野和子(静岡大学)
- 6** 大学におけるディベートの論題の検討 ————— p.140
内藤真理子(関西学院大学)・西村由美(関西学院大学)
- 7** 教員、学外協力者および受講生の共創による授業の実践 ————— p.142
大河貴久(大阪歯科大学)・筒井洋一(元京都精華大学)
橋本菜津美(半熟BLOOD)・岡 和寛(京都産業大学)
- 8** 迅速な授業改善に結びつき、学生の意欲を引き出す
対話型授業評価(Mid-term Student Feedback)の仕組みとその成果 ————— p.144
筒井洋一(元京都精華大学)・下村恭子(大阪教育福祉専門学校)
大河貴久(大阪歯科大学)・橋本菜津美(半熟BLOOD)
岡 和寛(京都産業大学)
- 9** 協調学習のプロセスを取り入れた複眼的・多角的思考を促すコンテンツ開発と評価 ————— p.146
尾澤重知(早稲田大学)・瀬戸裕一郎(株式会社基盤学力総合研究所)
森 裕生(早稲田大学)・網岡敬之(早稲田大学)
- 10** アクティブなグループ学習のためのメンバー編成とは?
—行動特性・性格特性を測る尺度を用いた多様性の実現— ————— p.148
森川由美(創価大学)・富岡比呂子(創価大学)
- 11** 指導教員と学生間で行われている論文指導の現状と課題 ————— p.150
高山善光(広島大学)・相馬宗胤(広島大学)
- 12** 簡易型ツールミン・モデル応用チャートを用いた論理的文章指導の試み ————— p.152
尾崎和香子(亜細亜大学)

- 13** 反転授業の効果と対面授業の設計について—学生アンケートから見えるもの— p.154
 常見 幸 (兵庫医療大学)・永田悟士 (兵庫医療大学)・鈴木綾華 (兵庫医療大学)
 紀平知樹 (兵庫医療大学)
- 14** 相方との温度差がペア学習に与える影響 (1) p.156
 秋本慶子 (大分県立看護科学大学)・吉村匠平 (大分県立看護科学大学)
- 15** 相方との温度差がペア学習に与える影響 (2) p.158
 吉村匠平 (大分県立看護科学大学)・秋本慶子 (大分県立看護科学大学)
- 16** 教養と専門科目を通じた論理的思考力の養成—アクティブ化の一つの目標として— p.160
 今村 武 (東京理科大学)・川村幸夫 (東京理科大学)
- 17** アクティブ・ラーニングの阻害要因についての—考察—学生生活満足度調査の分析を通して— p.162
 飯嶋香織 (神戸山手大学)・行木 敬 (神戸山手大学)・阿部 忍 (神戸山手大学)
- 18** 山梨大学における4年間にわたる反転授業の総括 p.164
 埴 雅典 (山梨大学)・森澤正之 (山梨大学)・田丸恵理子 (山梨大学)
 日永龍彦 (山梨大学)・豊浦正広 (山梨大学)
- 19** 教養教育における協働学習の場の可視化 p.166
 —参加者の言語的文化的多様性を前提とした授業における試み—
 吉野 文 (千葉大学)・西住奏子 (千葉大学)・小林聡子 (千葉大学)
 ガイタニディス・ヤニス (千葉大学)
- 20** 教育機関との協働による法教育のアクティブ・ラーニング実践 p.168
 西谷尚徳 (立正大学)
- 21** 看護のためのボディメカニクス教育の体系性Ⅱ p.170
 —力学を苦手とする学生に分かる説き方、その教育効果—
 小河一敏 (宮崎県立看護大学)・坂井謙次 (宮崎県立看護大学)
 日高真美子 (宮崎県立看護大学)
- 22** 反転授業におけるeラーニングのデザインが与える影響 p.172
 金西計英 (徳島大学)・高橋暁子 (徳島大学)
- 23** 作問学習における段階的指導と集団学習の効果について p.174
 大竹由記子 (富山高等専門学校)
- 24** ビジネス日本語教育におけるロールプレイ活動の効果の持続 p.176
 —社会言語能力の養成に向けて—
 山岸宏明 (明海大学)・木山三佳 (明海大学)
- 25** 日本語教員養成課程における他者と関わる力を伸ばす授業実践 p.178
 —社会的コンピテンスの涵養に着目して—
 鈴木秀明 (目白大学)
- 26** 多読型要約学習の実践とその効果—授業外学習時間と資質・能力に焦点をあてて— p.180
 杉本義行 (成城大学)
- 27** 学習教育到達目標に対応した自己評価システムの運用と課題 p.182
 越智洋司 (近畿大学)・湯本真樹 (近畿大学)
- 28** 学術情報リテラシーの評価のためのCan-Do tableの開発 p.184
 飯尾 健 (京都大学)
- 29** 「体験の言語化」授業におけるティーチングアシスタントガイドブックの開発 p.186
 渡邊 翔 (早稲田大学)・岩井雪乃 (早稲田大学)・兵藤智佳 (早稲田大学)
 和栗百恵 (福岡女子大学)・河井 亨 (立命館大学)

- 30** 山梨大学スペイン語科目の最初の5年間—立ち上げの過程を振り返って— p.188
渡辺 暁 (山梨大学)
- 31** 大学院生チューターの文章作成個別支援における卒業論文支援の課題
—チュータリング場面の相談記録の分析— p.190
眞崎光司 (東京学芸大学)
- 32** 大学院教育における共通教養教育科目の開発実践と課題 p.192
七田麻美子 (総合研究大学院大学)・菊地浩平 (総合研究大学院大学)
鎌田 進 (総合研究大学院大学)
- 33** 初年次ゼミの学習到達度を左右する要因の探索 p.194
石川勝彦 (山梨学院大学)・青山貴子 (山梨学院大学)・児島功和 (山梨学院大学)
- 34** 全学初年次共通のライティング授業におけるポートフォリオの活用とその成果 p.196
齋藤知明 (大正大学)
- 35** ルーブリックの普及へ向けたアプローチの検討 p.198
—学生の評価活動への関与を支援するガイドブックの開発と評価—
千葉美保子 (関西大学)・岩崎千晶 (関西大学)・山田嘉徳 (大阪産業大学)
森 朋子 (関西大学)
- 36** 6年一貫教育課程における目標駆動型カリキュラムプランと学習支援 p.200
—名古屋工業大学「Cプラン」の取組み—
牧野友紀 (名古屋工業大学)・犬塚信博 (名古屋工業大学)
森山甲一 (名古屋工業大学)・熊川剛久 (名古屋工業大学)
- 37** 初年次「日本語表現法」科目修了時のアンケート調査結果に見る変化 p.202
—学生はレポート作成の何を「楽しさ・つまずき・必要」と感じていたのか—
大島弥生 (東京海洋大学)・大場理恵子 (東京海洋大学)・小笠恵美子 (東京海洋大学)
トンプソン美恵子 (早稲田大学)・河野礼実 (東京海洋大学)
- 38** 初年次学生は企業が提示するリアルな課題と向き合うことで何を学ぶのか p.204
—FSP 講座の意義と課題—
茂住和世 (東京情報大学)
- 39** 初年次教育としての論証型レポート作成の重要性—情動面の成果に着目して— p.206
伏木田稚子 (首都大学東京)・安斎勇樹 (東京大学)
伊藤奈央 (丸善雄松堂株式会社)・山内祐平 (東京大学)
- 40** ルーブリック評価を用いた自己評価・ピア評価・教員評価の関係 p.208
—初年次プレゼンテーションから見えること—
三浦寛子 (北海道科学大学)・清水久恵 (北海道科学大学)・木村主幸 (北海道科学大学)
黒田 聡 (北海道科学大学)・山下政司 (北海道科学大学)・横山 徹 (北海道科学大学)
菅原俊継 (北海道科学大学)・相川武司 (北海道科学大学)・渡邊翔太郎 (北海道科学大学)
- 41** ミニツッペーパーの自由記述からみた学習者の学び—初年次教育の文章作成科目において— p.210
徳田 恵 (明海大学)・田川麻央 (明海大学)・木山三佳 (明海大学)
- 42** 動的カリキュラムマップ p.212
高松邦彦 (神戸常盤大学)・村上勝彦 (東京工科大学)・桐村豪文 (神戸常盤大学)
伴仲謙欣 (神戸常盤大学)・野田育宏 (神戸常盤大学)・光成研一郎 (神戸常盤大学)
中田康夫 (神戸常盤大学)

- 43** 学修成績から見た医療系学部における教科間関連性の検討 ————— p.214
 渡邊康晴(明治国際医療大学)・山崎 翼(明治国際医療大学)
 神内伸晃(明治国際医療大学)・竹田太郎(明治国際医療大学)
- 44** 「授業評価アンケート」の質問項目の調査—保育士養成部門のある大学とない大学の比較— p.216
 鈴木明子(横浜創英大学)
- 45** 徳島大学における「授業コンサルテーション」の検証 ————— p.218
 吉田 博(徳島大学)・宮田政徳(徳島大学)
- 46** FD活動の効果はどこに現れているのか?
 —大学教育研究フォーラムの発表抄録にみる効果測度の分類— ————— p.220
 川野卓二(徳島大学)・上岡麻衣子(徳島大学)
- 47** 拠点校によるFD活動がもたらすさまざまな効果について ————— p.222
 山本堅一(北海道大学)・Mazur Michal(北海道大学)・朴 仁哲(北海道大学)
- 48** 看護系大学のFD活動の現状と教員の教育力
 (学識・授業設計力・講義, 演習, 実習展開力・自己評価能力) ————— p.224
 吉澤千登勢(山梨県立大学)・村松照美(山梨県立大学)・萩原結花(山梨県立大学)
- 49** 教師の一人称視点映像を活用した教育実習事前指導の試み ————— p.226
 平山 勉(名城大学)・後藤明史(名古屋大学)・谷口正明(名城大学)
- 50** コンセプトマップを用いた教員の省察に基づく閾値概念の同定—大学初任教員を対象に— — p.228
 大山牧子(大阪大学)・根岸千悠(大阪大学)・大串晃弘(大阪大学)
 佐々木葉月(立命館大学)
- 51** 大学初任教員の授業に関する悩みとあるべき支援の検討
 —プレFD修了生へのインタビューを通して— ————— p.230
 根岸千悠(大阪大学)・大山牧子(大阪大学)・愼 姫宰(大阪大学)
- 52** 卒業生・就職先質問紙調査による大学教育評価の試み ————— p.232
 山本裕子(三重大学)・横矢祥代(三重大学)・中西良文(三重大学)
- 53** 大学における内部質保証システムの実効性担保と発展に資する社会的対話に関する考察 — p.234
 宮浦 崇(九州工業大学)・林 朗弘(九州工業大学)
- 54** 教職協働の新しい形—アクションリサーチの実践— ————— p.236
 中田康夫(神戸常盤大学)・伴仲謙欣(神戸常盤大学)・桐村豪文(神戸常盤大学)
 高松邦彦(神戸常盤大学)・野田育宏(神戸常盤大学)・光成研一郎(神戸常盤大学)
- 55** 身近なデータを活用した教育改善に関するSD研修プログラムモデルの構築 ————— p.238
 杉田郁代(高知大学)・清水栄子(愛媛大学)・加地真弥(愛媛大学)
- 56** 初年次学生を対象とした地域活動PBLの成果と課題(その2) ————— p.240
 櫻井典子(新潟大学)・松井克浩(新潟大学)
 松井賢二(新潟大学)・高橋秀樹(新潟大学)
- 57** 大学と地域・産業を繋ぐ正課外教育プログラムの実践—体育授業を中心とした試行— ——— p.242
 北 徹朗(武蔵野美術大学)・森 正明(中央大学)
- 58** COCOLO域における地域志向の学びと実践—「京都創造論」と「京都のまちづくり」の成果— p.244
 柴 恭史(京都大学)・高見 茂(京都大学)・中島悠介(京都大学)
- 59** 大学間及び産官学民の連携による初級地域公共政策士制度の開発実装とその課題 ————— p.246
 村上紗央里(同志社大学)・新川達郎(同志社大学)
- 60** 「地域志向」教育導入に伴う学生の意識のあり方をどう探るか? ————— p.248
 平 知宏(大阪市立大学)

- 61** 授業と図書館と地域書店の協働による読書推進教育の実践—学生協働への展開に着目して— **p.250**
橋本信子(流通科学大学)・桑原桃音(流通科学大学)
- 62** ラーニングコモンズにおける学習活性化に向けた「教職学協働」の取組み ————— **p.252**
鈴木 学(福島大学)
- 63** 学生の履修科目選択に関する調査—自律的学習者の育成をめざして— ————— **p.254**
五島讓司(新潟大学)・津田純子(新潟大学)・美馬秀樹(東京大学)
- 64** 教室環境整備によるアクティブ・ラーニング型授業の推進・支援
—Teikyo Active Learning Classroom System (TALCS) の活用事例に着目して— **p.256**
谷村英洋(帝京大学)・宮原俊之(帝京大学)・坂田哲人(帝京大学)
大川内隆朗(帝京大学)
- 65** 大学／地域連携型アクティブ・ラーニングによる「学びのコミュニティ」の形成
—京都発人材育成モデル「地域公共政策士」の取組から— ————— **p.258**
久保友美(龍谷大学)
- 66** 参加型・行動型アクティブラーニングの実践と検証
—全学共通教育科目「地域情報発信論」の授業づくりを中心に— ————— **p.260**
馬本 勉(県立広島大学)・五條小枝子(県立広島大学)・塩川満久(県立広島大学)
秋山伸隆(県立広島大学)・広谷大助(県立広島大学)・藤井宣彰(県立広島大学)
吉田倫子(県立広島大学)
- 67** 大学における要学習支援学生の「居場所づくり」
—学科教員と支援担当教員との連携を通じて— ————— **p.262**
鯨島輝美(京都光華女子大学)・塩崎正司(京都光華女子大学)
- 68** 教職員と学生ならびに学生間の協働による学びのコミュニティシステムの構築 ————— **p.264**
室田真男(東京工業大学)・渡辺雄貴(東京工業大学)
- 69** 学生の目的の明確化を目指す教授学修支援方策
—東工大教育改革における支援方策の考察— ————— **p.266**
靄島良和(東京工業大学)・植松明彦(東京工業大学)・渡辺雄貴(東京工業大学)
田中 岳(東京工業大学)
- 70** 大学教育におけるインターンシップの意味づけ ————— **p.268**
丸岡稔典(名古屋産業大学)
- 71** コーオプ教育における問題発見・課題解決型活動の支援に関する考察 ————— **p.270**
長田尚子(立命館大学)・江口瑛子(株式会社HR インスティテュート)
森田泰暢(九州産業大学)・中川洋子(立命館大学)
- 72** 医療・看護教育に於ける演劇ワークショップの活用について ————— **p.272**
蓮 行(京都外国語大学)・岡崎研太郎(名古屋大学)
- 73** 早稲田大学における高等教育研究・開発—大学総合研究センターの取組み— ————— **p.274**
石井雄隆(早稲田大学)・姉川恭子(早稲田大学)・渡邊文枝(早稲田大学)
- 74** 正課外活動におけるキャリアレジリエンスの獲得につながる経験に関する調査 ————— **p.276**
池田めぐみ(東京大学)・伏木田稚子(首都大学東京)・山内祐平(東京大学)
- 75** 高大連携と大学院生キャリア開発を重視した高校生に対する
日本語アカデミック・ライティング指導 ————— **p.278**
堀 一成(大阪大学)・坂尻彰宏(大阪大学)・太田ユカ(京都府立鳥羽高等学校)
奥村典夫(京都府立鳥羽高等学校)・中藤 強(京都府立鳥羽高等学校)
松井佳代美(京都府立鳥羽高等学校)

- 76** 高校生の大学選択と志向に関する考察 ————— **p.280**
姉川恭子 (早稲田大学)
- 77** スチューデント・アシスタントの成長に関する探索的研究 ————— **p.282**
館野泰一 (立教大学)
- 78** 全学的なLMS導入とその活用状況の分析 ————— **p.284**
松本高志 (阿南工業高等専門学校)・小松 実 (阿南工業高等専門学校)
山田耕太郎 (阿南工業高等専門学校)・川畑成之 (阿南工業高等専門学校)
太田健吾 (阿南工業高等専門学校)・菊池弥生 (阿南工業高等専門学校)
- 79** スチューデント・サポート・ポリシーを中核に据えた教学マネジメント改革 ————— **p.286**
桐村豪文 (神戸常盤大学)・高松邦彦 (神戸常盤大学)・伴仲謙欣 (神戸常盤大学)
野田育宏 (神戸常盤大学)・光成研一郎 (神戸常盤大学)・中田康夫 (神戸常盤大学)
- 80** 学習支援における学びの成果—学習者と主催者の双方から— ————— **p.288**
佐々木知彦 (関西大学)・岩崎千晶 (関西大学)・大田恵佳 (関西大学)
松田昇子 (関西大学)

3月19日(日) 1日目

特別講演 11:20~12:20 百周年時計台記念館1F 百周年記念ホール

「人工知能が大学入試を突破する時代、人は何をすべきか?」 p.32

新井 紀子 (国立情報学研究所社会共有知研究センター長)

【司会】 飯吉 透 (京都大学高等教育研究開発推進センター長)

学術セミナー 11:20~12:20

吉田南総合館北棟

「学問分野別学修成果アセスメントから学位プログラム設計へ
—エキスパート・ジャッジメントによる共通性と多様性の両立—」
..... 【会場：吉田南総合館北棟 共北31】

p.33

深堀 聡子 (国立教育政策研究所高等教育研究部長)

【司会】 松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

「米国におけるIR/IEの最新動向と日本への示唆」 【会場：吉田南総合館北棟 共北25】

p.34

浅野 茂 (山形大学学術研究院教授)

【司会】 山田 剛史 (京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)

MOSTフェロー発表会

「MostDE デートー異分野コラボレーションによる共同的授業実践の創発」

13:30~14:30

百周年時計台記念館1F 百周年記念ホール

趣 旨

京都大学高等教育研究開発推進センターでは、特徴ある授業実践をおこなっている全国の大学教員が参加するMOSTフェローシッププログラムを、2012年より実施してきました。MOSTフェローは、対面やオンラインで交流しながら、1年間かけてそれぞれの授業改善に取り組み、授業実践の中で直面する様々な教育的課題を相互の実践知から解決する大学教員の情報共有コミュニティを目指して活動しています。

現在、第5期9名が活動中ですが、近年、すでに修了証を得た第1期から第4期までを含めたMOSTフェローの相互交流が活発になりつつあります。その活動の一つとして、MOSTフェローの専門分野が多様であることを活かした、異分野コラボレーションによる共同的授業実践が挙げられます。

米国の教育学研究者であるLee S. Shulmanは、SoTL (Scholarship of Teaching and Learning) を推進するためには、分野横断的に良き教育実践から学びあい、実践を積み重ねていくことが重要であることを強調しています。「教育実践コミュニティ」「実践と振り返りのコミュニティ (Community of Practice and Reflection)」として相互・創発的に授業改善をおこなうことは、多様化する大学教育実践の課題に対処するための有力な方策であるといえます。

本発表では、異分野コラボレーションによる共同的授業を実践された先生方の事例を楽しく紹介することで、このような「新しいFDモデル」の可能性をみなさんと考えてみたいと思います。

(田口 真奈・酒井 博之・岡本 雅子・飯吉 透)

- 報告者 矢野 浩二郎 (大阪工業大学情報科学部准教授 / 第3期MOSTフェロー)
 村上 裕美 (関西外国語大学短期大学部准教授 / 第1期MOSTフェロー)
 坂田 信裕 (獨協医科大学基本医学情報教育部門教授・情報基盤センター長 / 第2期MOSTフェロー)
 道幸 俊也 (関東学院大学法学部法学科助教 / 第4期MOSTフェロー)
 渡邊 美智留 (横浜薬科大学臨床薬学科准教授 / 第4期MOSTフェロー)
 森田 泰暢 (九州産業大学経済学部経済学科准教授 / 第5期MOSTフェロー)
- 司 会 木村 修平 (立命館大学生命科学部生命情報学科准教授 / 第1期MOSTフェロー)
 勝又 あずさ (成城大学キャリアセンター特別任用准教授 / 第1期MOSTフェロー)
- 企画協力 長田 尚子 (立命館大学共通教育推進機構准教授 / 第1期MOSTフェロー)

シンポジウム「アセスメント・イン・アクション—評価の新しい形—」

14:45~18:00

百周年時計台記念館1F 百周年記念ホール

挨拶 14:45~15:00

北野 正雄 (京都大学教育・情報・評価担当理事)

趣旨説明 15:00~15:10

松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

話題提供 15:10~16:40

p.27~29

土井 隆雄 (京都大学宇宙総合学研究ユニット特定教授)

「有人宇宙活動のための人材育成について」

p.27

平田オリザ (東京藝術大学 COI 研究推進機構特任教授)

「知識の量を量る試験から、学ぶ仲間を選ぶ試験へ」

p.28

錦織 宏 (京都大学医学教育推進センター准教授)

「医学教育における学生・研修医の評価」

p.29

休憩 (質問用紙回収) 16:40~16:55

論点整理 16:55~17:05

山田 剛史 (京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)

パネルディスカッション 17:05~18:00

趣旨

大学教育において、学習者の評価は、近年、いっそう重要性を増しつつあります。

現在の大学教育の基盤にある単位制度は、「1単位=45時間の学修を必要とする内容」という規定に見られるように<時間>によって学修を換算する側面と、<学修成果>の評価によって修得を認定する側面の両面をもっています。ですが、MOOCのように、時間や場所で学習者をしばらないシステムが普及していけば、この二つの側面のうち、学修成果の評価の方に次第にウェイトが置かれるようになっていくでしょう。

一方、2020年度からは新テストがスタートすることになっており、それに伴って、大学の入学者選抜方法はもちろんのこと、初等中等教育における評価方法も大きく様変わりしつつあります。

今回のシンポジウムでは、宇宙人材開発、演劇教育、医師養成といった分野で、評価をする側あるいは受ける側として、通常のペーパーテストやレポートといった方法とは異なる評価に関わってこられた方々に、その経験と知見をお話いただきます。先端部分から、大学教育における評価の新しい形が見えてくるはずですよ。

部会13 座長：坂本 旬 【会場：吉田南1号館 1共33】

授業開講前の知識・経験の水準に基づく学生の類型化

—授業への期待に関する類型間比較— **p.290**

中島宏治(早稲田大学)・武谷慧悟(早稲田大学)

「聞くこと」と「書くこと」を前提とする従来型講義の新たな形式

—能動的な活動を伴うトレーニング型講義の可能性 **p.292**

高橋秀彰(関西大学)

LMS等を活用した大規模講義への授業参加度を高める試み **p.294**

新正裕尚(東京経済大学)

大人数講義におけるデジタル・ストーリーテリング制作課題と動画閲覧・相互コメントツールの活用

坂本 旬(法政大学)・芳賀 瑛(法政大学) **p.296****部会14** 座長：谷口進一 【会場：吉田南1号館 1共32】

アクティブラーニング導入に関する基礎的研究

—大学生の協同作業認識を参照しながら— **p.298**

野中陽一郎(高知大学)

グローバル人材育成を目指したMOOCs x アクティブラーニング型授業開発と実施 **p.300**

関口幸代(明治学院大学)

教員養成大学における教育実習前実践活動の意義

—PBL(Project Based Learning)から「私の学びの地図」へ— **p.302**

小林恭士(宮城教育大学)・青柳新太郎(宮城教育大学)・猪瀬文野(宮城教育大学)

岩淵美里(宮城教育大学)・大橋遥介(宮城教育大学)・葛西 萌(宮城教育大学)

菊地京香(宮城教育大学)・河野大空見(宮城教育大学)・佐々木茜(宮城教育大学)

白石佳奈(宮城教育大学)・菅原秀仁(宮城教育大学)・高橋洸也(宮城教育大学)

橋本 樹(宮城教育大学)・吉岡麻美(宮城教育大学)・渡辺 聡(宮城教育大学)

数理の「深い学習」における学生の態度傾向の分析 **p.304**

谷口進一(金沢工業大学)・中村 晃(金沢工業大学)・木村竜也(金沢工業大学)

山岡英孝(金沢工業大学)

部会15 座長：吉田文子 【会場：吉田南1号館 1共31】全科目の平均得点と各科目の得点を学修到達度とした点双列相関係数による試験問題の評価 **p.306**

三笠洋明(徳島大学)・赤池雅史(徳島大学)・西村明儒(徳島大学)

多くの評価者が公平公正に評価するためのルーブリック

—多面的・総合的評価を行うために— **p.308**

菊池明泰(北海道科学大学)・細川和彦(北海道科学大学)・塚越久美子(北海道科学大学)

碓山恵子(北海道科学大学)・中島寿宏(北海道科学大学)・林 孝一(北海道科学大学)

必修PBL型授業の課題解決に向けたルーブリック活用の試み ————— p.310

礎山恵子(北海道科学大学)・菊池明泰(北海道科学大学)・湯川恵子(神奈川大学)
木村尚仁(北海道科学大学)

ルーブリック活用による個人ポートフォリオ作成とその評価 ————— p.312

—学生が身についたとする力—

吉田文子(佐久大学)・清水千恵(佐久大学)・浅野 均(佐久大学)
中田覚子(佐久大学)・吉田和美(佐久大学)

部会16 …………… 座長：芳賀 瑛 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北31】

大学入学希望者学力評価テスト(仮称)「実施方針」の策定・公表を前にして

—実施可能性は、妥当性とも信頼性とも、勝るとも劣らないのではないだろうか—

時期・経費・人出 ————— p.314

菅野憲司(千葉大学)

アクティブラーニング・スペクトラムの提案 ————— p.316

和田翔二郎(京都大学)・飯尾 健(京都大学)・溝口 侑(京都大学)
小山理子(京都大学)・松下佳代(京都大学)

アクティブラーニング

—学生主体による人型ロボット用医学英語教材の作成とその活用について— ————— p.318

坂本洋子(獨協医科大学)

パイロットの視線情報を省察することによる訓練生の操縦技量の向上 ————— p.320

芳賀 瑛(法政大学)・遠藤信二(法政大学)・柴田東作(法政大学)
新井和吉(法政大学)・常盤祐司(法政大学)

部会17 …………… 座長：堀之内敏恵 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北33】

質保証に向けた大学教育の変化と修学支援の課題(1)

—学生の能力を引き上げる米国の修学支援に学ぶ— ————— p.322

中村章二(愛知教育大学)・島田敬久(テンプル大学ジャパンキャンパス)

質保証に向けた大学教育の変化と修学支援の課題(2)

—学生の能力を引き上げる米国の修学支援に学ぶ— ————— p.324

島田敬久(テンプル大学ジャパンキャンパス)・中村章二(愛知教育大学)

オーナーズプログラムがもたらす学士課程への教育的効果検証及びプログラム改善方策の検討 p.326

廷々宣幸(創価大学)・池ヶ谷浩二郎(創価大学)

「教養科目」改革の検証—学生の履修動向と学びに着目して— ————— p.328

堀之内敏恵(岩手県立大学)

部会18 …………… 座長：小島佐恵子 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北3D】

授業評価アンケートの新たな活用方法の模索 ————— p.330

岩瀬峰代(島根大学)・原田健太郎(島根大学)・鹿住大助(島根大学)

- 米国研究大学における大学院生を対象とした
ティーチング・ポートフォリオ作成支援に関する研究—日本への示唆— p.332
吉良 直(東洋大学)・栗田佳代子(東京大学)・吉田 壘(東京大学)
- 佐賀大学におけるティーチング・ポートフォリオの取組み p.334
山内一祥(佐賀大学)・皆本晃弥(佐賀大学)
- ティーチング・ポートフォリオを活用した教育活動の振り返り
—全学プロジェクトの立ち上げと組織的運営の課題— p.336
小島佐恵子(玉川大学)・伊藤良二(玉川大学)・黒田 潔(玉川大学)
藤枝由美子(玉川大学)・三村真紀子(玉川大学)・南島永衣子(玉川大学)

部会19 …………… 座長：榊原暢久 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北25】

- 大学職員がプロジェクト・チームでイノベーションを創出する
—SDP「大学職員のための『大学変革力』育成講座」の試み— p.338
稲田ゆき乃(東北大学)・川面きよ(東北大学)・杉本和弘(東北大学)
- 大学職員によるキャリア授業の組織的開発 p.340
福岡正藏(京都精華大学)
- 芝浦工業大学における SCOT プログラム
—SCOT 学生にみられる成長— p.342
ホートン広瀬恵美子(芝浦工業大学)・榊原暢久(芝浦工業大学)
奥田宏志(芝浦工業大学)
- 芝浦工業大学における FDer 養成に関する実践報告 p.344
榊原暢久(芝浦工業大学)・ホートン広瀬恵美子(芝浦工業大学)
奥田宏志(芝浦工業大学)

部会20 …………… 座長：丹羽量久 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北26】

- 初年次学生における成長要因の可視化に関する研究—多面的な分析手法を通じて— p.346
杉原 亨(関東学院大学)・岡田佐織(ベネッセ教育総合研究所)
奈良堂史(関東学院大学)・佐藤昭宏(ベネッセ教育総合研究所)
山田昭子(関東学院大学)・松尾洋希(ベネッセ i-キャリア)・影山裕介(ベネッセ i-キャリア)
- 初年次における「イグナイト教育 (IGNITE)」の展開
—取り組みと学修効果・成果の検証— p.348
中越元子(いわき明星大学)・野原幸男(いわき明星大学)・田島裕久(いわき明星大学)
角田 大(いわき明星大学)・江藤忠洋(いわき明星大学)・永田隆之(いわき明星大学)
- プロジェクトアドベンチャーを初年次教育に導入するための試行 p.350
松下尚史(岡山理科大学)・松尾美香(岡山理科大学)・望月雅光(創価大学)
- 初年次大学生のメタ認知の伸長—情報基礎教育の前後での比較— p.352
丹羽量久(長崎大学)・山地弘起(大学入試センター)

部会21 …………… 座長：中野民夫 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北27】

- 社会に開かれた教育課程実現のための大学のPBL・高校のプロジェクト学習と
 高大連携の実践研究 ————— **p.354**
 長岡素彦(一般社団法人地域連携プラットフォーム)
- 理工系・医系大学における理想的教養教育の実践 ————— **p.356**
 尾崎正延(神奈川工科大学)・三浦直子(神奈川工科大学)・師玉真理(神奈川工科大学)
- 研究志向型初年次ゼミにおけるTAの活用による学びの促進
 —東京大学「初年次ゼミナール文科」の独自性と汎用性— ————— **p.358**
 岡田晃枝(東京大学)・中村長史(東京大学)
- 東工大リベラルアーツ教育改革の実際—新入生の「立志プロジェクト」を中心に— ————— **p.360**
 中野民夫(東京工業大学)

部会22 …………… 座長：山田剛史 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北28】

- いじめと評価について ————— **p.362**
 石原豪人(京都大学)
- お茶の水女子大学における高大連携教育の展望と課題 ————— **p.364**
 田村恵美(お茶の水女子大学)
- 高大接続を視野に入れた探究型初年次専門科目の設計と評価
 —京都大学教育学部「教育研究入門」における実践(1)— ————— **p.366**
 服部憲児(京都大学)・山田剛史(京都大学)
- 高大接続を視野に入れた探究型初年次専門科目の設計と評価
 —京都大学教育学部「教育研究入門」における実践(2)— ————— **p.368**
 山田剛史(京都大学)・服部憲児(京都大学)

部会23 …………… 座長：高橋哲也 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北37】

- IR組織に関するアンケート調査(1)—国立大学と私立大学の比較検討— ————— **p.370**
 岩崎保道(高知大学)
- IR組織に関するアンケート調査(2)—私立大学のIR組織における実態と貢献度の関係性— **p.372**
 鈴木弘道(駒澤大学)
- 女子大学ベンチマークの試み ————— **p.374**
 白石哲也(清泉女子大学)・橋本智也(京都光華女子大学)
 十河功一(九州女子大学・九州女子短期大学)・下山貴宏(大阪樟蔭女子大学)
- 日本の大学生のベンチマークデータ—大学IRコンソーシアムの共通学生調査から— ————— **p.376**
 高橋哲也(大阪府立大学)・畑野 快(大阪府立大学)

部会24 …………… 座長：陣内雄次 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北34】

- アクティブラーニングの推進と課題解決能力を評価するコモンルーブリック ————— **p.378**
 庄司一也(徳山大学)・寺田篤史(徳山大学)・石川英樹(徳山大学)
 岡野啓介(徳山大学)

- 看護学科4年生のための健康教育設計・実践に関する授業改善の取組み ————— p.380
柴田喜幸(産業医科大学)
- 看護教育における知識と経験の総合化のためのコンセプトマップ導入と評価
—疾病論「眼」の授業を通して— ————— p.382
大串晃弘(大阪大学)・佐々木葉月(立命館大学)・根岸千悠(大阪大学)
大山牧子(大阪大学)
- 高校生の地域参画学習—その可能性と課題— ————— p.384
陣内雄次(宇都宮大学)・長岡素彦(一般社団法人地域連携プラットフォーム)

部会25 …………… 座長：小川 勤 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北3C】

- 学生の自宅学習を促す教育プログラム事業—教育補助員活用の効果— ————— p.386
丸尾雅啓(滋賀県立大学)・倉茂好匡(滋賀県立大学)
- 英国オープン・ユニバーシティの学習者支援システム ————— p.388
Hanmo Jeong(京都大学)
- LMSの利用状況から支援の必要な学生を見いだす試み ————— p.390
有田亜希子(清泉女子大学)・白石哲也(清泉女子大学)
- 障害者支援に関する地域リソース・シェアリングに関する研究
—EU-Netの概要と遠隔ノートテイク実験— ————— p.392
小川 勤(山口大学)・岡田菜穂子(山口大学)

部会26 …………… 座長：成瀬尚志 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北35】

- 大学教育におけるコンセプト・マップの活用による学術概念への発展の可視化
—国際関係論の学習を事例に— ————— p.394
佐々木葉月(立命館大学)・大串晃弘(大阪大学)・大山牧子(大阪大学)
根岸千悠(大阪大学)
- 大学教育研究における実践知についての考察—アクション・リサーチの理論と実践から— — p.396
河井 亨(立命館大学)
- クラウド型クリッカーシステムがVOD教材の利用方法に与える効果 ————— p.398
福田 健(清泉女子大学)
- レポート論題タキシソミー—論題のスコープに着目して— ————— p.400
成瀬尚志(京都光華女子大学)・笠木雅史(京都大学)・児島功和(山梨学院大学)
高橋亮介(首都大学東京)・崎山直樹(千葉大学)・片山悠樹(愛知教育大学)
井頭昌彦(一橋大学)

部会27 …………… 座長：稲葉利江子 ……【会場：吉田南総合館北棟 共北38】

- 教員養成における「情報機器の操作」の授業の検討と改善 ————— p.402
江島徹郎(愛知教育大学)・梅田恭子(愛知教育大学)・齋藤ひとみ(愛知教育大学)
- オンライン型講義における学生の受講動態分析
—宮崎大学 e-learning プログラムを事例として— ————— p.404
早川 公(宮崎大学)・顔 明敏(宮崎大学)・野見山将太(宮崎大学)

TED を利用した英語によるオンラインディスカッション交流—学生アンケートの分析— p.406

藤枝美穂 (京都医療科学大学)・宮本節子 (兵庫県立大学)
 小原 平 (東京慈恵会医科大学)・飯野一彦 (群馬工業高等専門学校)
 鈴木広子 (東海大学)・菅原安彦 (国土館大学)・保崎則雄 (早稲田大学)
 松浦浩子 (福島大学)

大学におけるICT利活用の導入状況の一考察—大学規模別の観点から— p.408

稲葉利江子 (津田塾大学)・辻 靖彦 (放送大学)・高比良美詠子 (中部大学)
 田口真奈 (京都大学)

部会28 座長：井上次夫 【会場：吉田南総合館北棟 共北3B】

教員養成における卒後支援としての「学びのコミュニティ」構築に関する実践的研究 p.410

三浦和美 (東北福祉大学)

教育実習前 CBT の必要性和望まれる諸要素の検討

—ソーシャルスキル、学習意欲、メタ認知に関する、教育実習前後における変化を通じて— p.412

林美都子 (北海道教育大学)・半澤礼之 (北海道教育大学)
 樋口 収 (教員養成開発連携センター)・蛭田真一 (北海道教育大学)
 松橋博美 (北海道教育大学)・渡辺 匠 (教員養成開発連携センター)

大学間連携による教員養成のための共同教育の実践 p.414

田中彩葉 (愛知教育大学)・浅野卓司 (桜花学園大学)
 江島徹郎 (愛知教育大学)・小谷健司 (愛知教育大学)
 近藤正春 (桜花学園大学)・菅沼教生 (愛知教育大学)
 高橋岳之 (愛知教育大学)・渡辺 桜 (名古屋学芸大学)

多様なグループ発表形態を取り入れた授業—国語教員志望学生による実践— p.416

井上次夫 (高知県立大学)

部会29 座長：山川健一 【会場：吉田南総合館北棟 共北3A】

日本人大学生の留学経験における成果をもたらす行動とその要因に関する実証的研究 p.418

河合道雄 (京都大学)・飯吉 透 (京都大学)

英語で学ぶ秋田学—地域に根差したグローバル教育の挑戦— p.420

梶本歩美 (国際教養大学)

グローバル社会に対応した大学教育とは

—質問紙調査とインタビュー調査による大学調査の結果を踏まえて— p.422

野吾教行 (首都大学東京)・友野伸一郎 (学校法人河合塾)
 山本康二 (学校法人河合塾)・高井靖雄 (学校法人河合塾)
 伊藤寛之 (学校法人河合塾)・赤塚和繁 (学校法人河合塾)
 中條恵理奈 (学校法人河合塾)

学科全員留学プログラムの評価 p.424

山川健一 (安田女子大学)

学生のノートテイキングから授業のあり方を考える

—学生へのインタビュー調査をふまえて— ……………【会場：吉田南総合館北棟 共北33】

p.428

企 画：松本浩司（名古屋学院大学）
 人見泰弘（名古屋学院大学）
 話題提供：松本浩司（名古屋学院大学）
 人見泰弘（名古屋学院大学）
 司 会：松本浩司（名古屋学院大学）

アクティブ・ラーニング・PBLによる大学—高校の地域参画・社会参画教育

—一次期指導要領を活用したシティズンシップ教育、平和教育、ESD—

……………【会場：吉田南1号館 1共33】

p.430

企 画：浅川和也（東海学園大学）
 話題提供：長岡素彦（関係性の教育学会）
 陣内雄次（宇都宮大学）
 指定討論：竹内久顕（東京女子大学）
 司 会：浅川和也（東海学園大学）

小規模大学におけるIR ……………【会場：吉田南1号館 1共32】

p.432

企 画：白石哲也（清泉女子大学）
 橋本智也（京都光華女子大学）
 話題提供：白石哲也（清泉女子大学）
 橋本智也（京都光華女子大学）
 田尻慎太郎（横浜商科大学）
 白鳥成彦（嘉悦大学）
 指定討論：小湊卓夫（九州大学）
 嵩田敏行（茨城大学）
 山崎その（京都外国語大学）
 司 会：山本 鋳（九州工業大学）

MOST が育てる実践コミュニティII

—実践課題の相互支援を通して創発へ繋げるフェローの挑戦—

.....【会場：吉田南1号館 1共31】

p.434

- 企画：天野一哉（星槎大学）
長田尚子（立命館大学）
勝又あずさ（成城大学）
木村修平（立命館大学）
駒井章治（奈良先端科学技術大学院大学）
柴田喜幸（産業医科大学）
筒井洋一（元京都精華大学）
森田泰暢（九州産業大学）
話題提供：村上裕美（関西外国語大学）
小河一敏（宮崎県立看護大学）
道幸俊也（関東学院大学）
田口真奈（京都大学）
指定討論：田口真奈（京都大学）
司会：新正裕尚（東京経済大学）

大学生の対人関係文化をふまえたコミュニケーション教育を探る

.....【会場：吉田南総合館北棟 共北25】

p.436

- 企画：山地弘起（大学入試センター）
話題提供：保崎則雄（早稻田大学）
田中東子（大妻女子大学）
Gehertz 三隅友子（徳島大学）
指定討論：谷 美奈（帝塚山大学）
司会：山地 弘起（大学入試センター）

アクティブラーニングの評価のフロンティア【会場：吉田南総合館北棟 共北26】

p.438

- 企画：松下佳代（京都大学）
話題提供：武田佳子（京都大学）・渡邊智也（京都大学）
河合道雄（京都大学）・杉山芳生（京都大学）・松崎正治（同志社女子大学）
山田 勉（立命館大学）・斎藤有吾（山口大学）・香西佳美（京都大学）
司会：松下佳代（京都大学）

起業体験プログラムを通じたビジネス教育事例—リアルなPBL (Project based learning) —

.....【会場：吉田南総合館北棟 共北27】
 _____ p.440

企 画：保田隆明 (神戸大学)
 話題提供：芦澤美智子 (横浜市立大学)
 飛田 努 (福岡大学)
 山田裕美 (九州大学)
 村口和孝 (日本テクノロジーベンチャーキャピタル)
 司 会：保田隆明 (神戸大学)

新たなテクノロジーを教育実践に!

—VR、ロボットなどをどのように授業で活用できるのか?—

.....【会場：吉田南総合館北棟 共北34】
 _____ p.442

企 画：坂田信裕 (獨協医科大学)
 矢野浩二郎 (大阪工業大学)
 村上祐子 (東北大学)
 稲葉利江子 (津田塾大学)
 話題提供：坂田信裕 (獨協医科大学)
 矢野浩二郎 (大阪工業大学)
 村上祐子 (東北大学)
 司 会：坂田信裕 (獨協医科大学)
 矢野浩二郎 (大阪工業大学)

教育実践が大学教員にもたらす越境性 (Transboundary) と多様性 (Diversity)

.....【会場：吉田南総合館北棟 共北35】
 _____ p.444

企 画：村松陸雄 (武蔵野大学)
 話題提供：村松陸雄 (武蔵野大学)
 石井雅章 (神田外語大学)
 勝浦信幸 (城西大学)
 村山史世 (麻布大学)
 司 会：村松陸雄 (武蔵野大学)

授業実践事例と共に紐解くアクティブラーニング型授業の学習効果

.....【会場：吉田南総合館北棟 共北28】
 _____ p.446

企 画：三保紀裕 (京都学園大学)
 溝上慎一 (京都大学)
 森 朋子 (関西大学)
 話題提供：三保紀裕 (京都学園大学)
 山田嘉徳 (大阪産業大学)
 佐伯昌之 (東京理科大学)
 指定討論：杉谷祐美子 (青山学院大学)
 司 会：三保紀裕 (京都学園大学)

学生の成長を可視化し、教育の質保証へつなげるために必要なこと

……………【会場：吉田南総合館北棟 共北31】

p.448

企 画：岡田佐織 (ベネッセ教育総合研究所)
佐藤昭宏 (ベネッセ教育総合研究所)
話題提供：杉原 亨 (関東学院大学)
志村知美 (追手門学院大学)
岡田佐織 (ベネッセ教育総合研究所)
指定討論：池田輝政 (追手門学院大学)
奈良堂史 (関東学院大学)
木村治生 (ベネッセ教育総合研究所)
司 会：佐藤昭宏 (ベネッセ教育総合研究所)

学生FD活動経験者が語る、学生参画型「活動」の提案

—テレビ朝日系列番組『しくじり先生』になぞらえて— ……【会場：吉田南総合館北棟 共北37】

p.450

企 画：山下貴弘 (山口大学)
話題提唱：山下貴弘 (山口大学)
話題提供：平野優貴 (法政大学)
多島愛理 (一般社団法人なら人材育成協会)
千田沙織 (第一学院高等学校岡山キャンパス)
指定討論：木野 茂 (元立命館大学)
司 会：平野優貴 (法政大学)

FD・SDを促進する大学間連携ネットワークの役割

SPOD事業の効果検証を事例として……………【会場：吉田南総合館北棟 共北38】

p.452

企 画：塩崎俊彦 (高知大学)
俣野秀典 (高知大学)
話題提供：塩崎俊彦 (高知大学)
中井俊樹 (愛媛大学)
藤巻 晃 (徳島文理大学)
指定討論：佐藤浩章 (大阪大学)
桂 良彦 (公益財団法人大学コンソーシアム京都)
司 会：俣野秀典 (高知大学)

BYODによる教育学習環境の変革に向けて……………【会場：吉田南総合館北棟 共北36】

p.454

企 画：梶田将司 (京都大学)
話題提供：金子周司 (京都大学)・中津 亨 (京都大学)
延原章平 (京都大学)・青木学聡 (京都大学)
木村大治 (京都大学)・竹田晋也 (京都大学)
梶田将司 (京都大学)
指定討論：森村吉貴 (京都大学)
司 会：梶田将司 (京都大学)